

## **(2) 営農支援策について**

### **① 生業支援について**

# 根域制限高うねマルチ栽培

## 根域制限高うねマルチ栽培とは

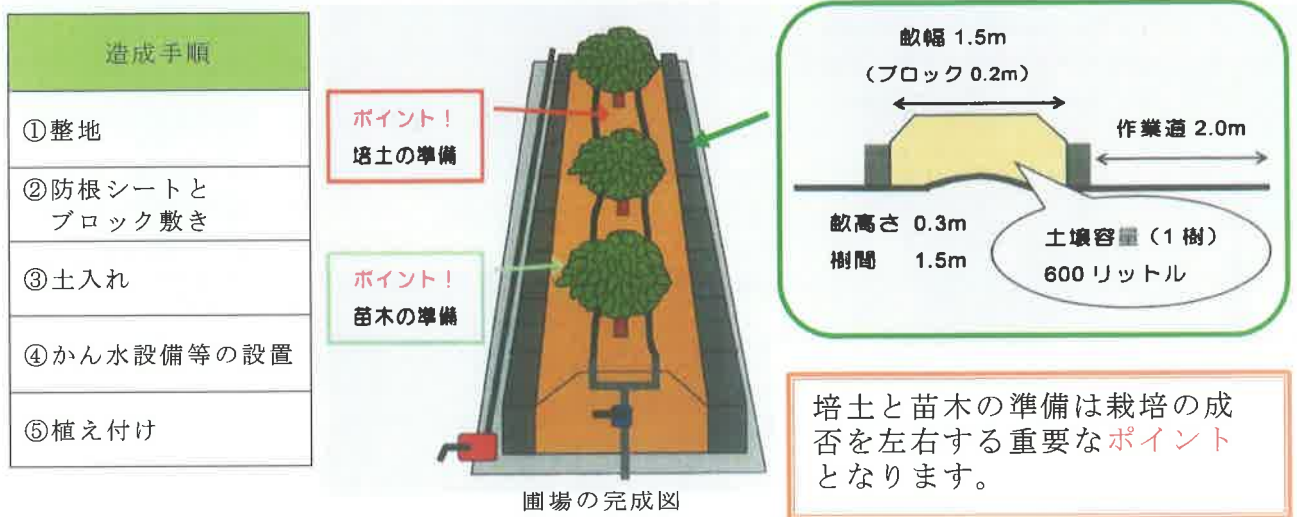
防根シート上に盛り土した培土に樹を植付け、根域分布を制限するとともに、地表面をマルチ被覆し降雨を遮断することにより、水分ストレスを確実にかけ、高糖度な果実を生産する技術です。



### 【メリット】

- 土壌中の水分コントロールと樹への生育負荷により、安定した高品質果実の生産が可能となり、慣行栽培と比べ2倍以上の収穫量が見込まれることから所得の増大が期待できます。
- 根域を制限することにより、樹がわい化し収穫時期が早まります。
- 整列した植栽方式であるため管理作業の軽減、省力化が図れます。
- 水田転換園等の平坦地で糖度の上がりにくい園地でも、高品質果実生産の適地になります。

### 【圃場造成の手順】



### 【実証圃の設置場所】 宇和島市吉田町法華津（玉津地区）



問い合わせ先  
J A えひめ南

TEL 〇〇-〇〇〇〇

## 温州みかんの根域制限栽培の実証

今回、本県で実証する根域制限栽培については、点滴灌水施設(マルドリ方式)も導入して実証するもので、液肥混入による施肥コントロールを行うことにより収量の向上も目指す。

- 事業名:果樹生産性向上モデル確立事業[定額:10,000千円、国費(直採)]
- 実施期間:令和元年度(実証期間は令和2年4月～令和6年度)
- 実施場所:宇和島市吉田町法花津(玉津地区) 1,447㎡ [1,000㎡以上]
- 取組主体:南予地域果樹産地協議会(事業の中核となる機関:JAえひめ南)
- 実証品種:南柑20号(2年生苗)
- 実証内容:労働生産性の向上(単位当たり生産量に対する労働時間の短縮110%以上)



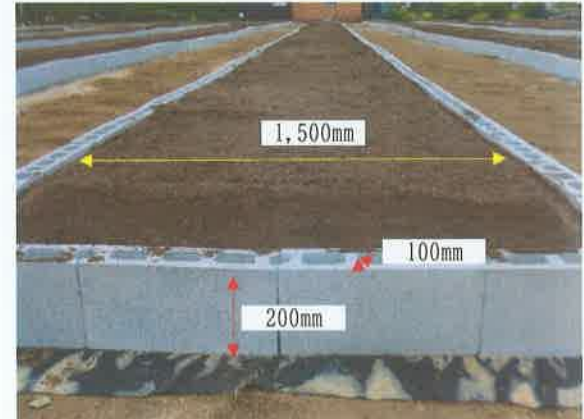
Pic. 1 生育状況(R2.5中)



Pic. 2 定植状況(R2.3上)



Pic. 3 畝づくり完成



Pic. 4 畝の大きさ



Pic. 5 灌水施設①



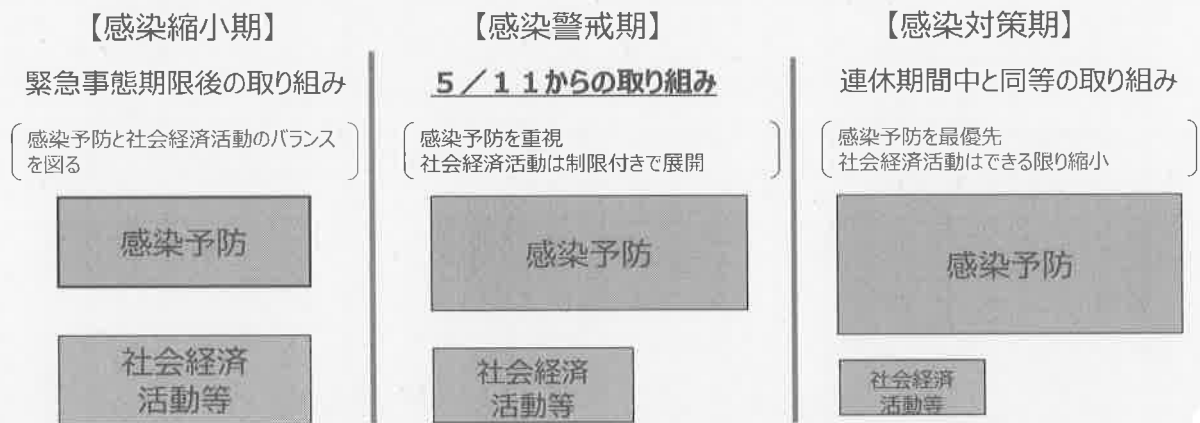
Pic. 5 灌水施設②

## ② 産地力の底上げについて

# 感染予防と社会経済活動のバランス

## ○ 感染状況等に応じて警戒レベルを設定

- ・ 感染予防と社会経済活動等のバランス・力点の置き方は、状況に応じ変化が必要。
- ・ 判断のもとになる指標をもとに、3つの警戒レベル（縮小期・警戒期・対策期）を設定。  
**5月11日以降は「感染警戒期」とする。**
- ・ 警戒レベルが上がった際は、必ずしも県下一律ではなく、感染状況に応じて、市町やエリア単位での対応も行う。



## 段階に応じた要請の主な内容

要請対象	縮小期	警戒期	対策期
県民の行動要請	外出自粛は要請しない	県外や3密の場への外出自粛	外出自粛（県外・県内問わず）
イベント等の開催目安	感染予防対策を徹底のうえで実施	当面、50人以内まで	人が集まることは推奨しない
事業者	県外の出張自粛は要請しないが、感染予防対策を徹底	感染拡大地域への出張の自粛	原則、県外への出張の自粛
休業要請	感染状況に応じて検討	条件を付して休業要請を緩和	業種を特定して休業要請
学校	開校・部活動も実施	開校するが授業内容や部活動等の制限	休業
県管理施設	感染予防対策を徹底のうえで開館	一定の条件のもとで開館	原則閉館
高齢者施設・医療機関等への面会等	感染防止対策を徹底のうえで面会可	自粛を要請	原則禁止

# 紅プリンセス産地化促進事業

R2年度

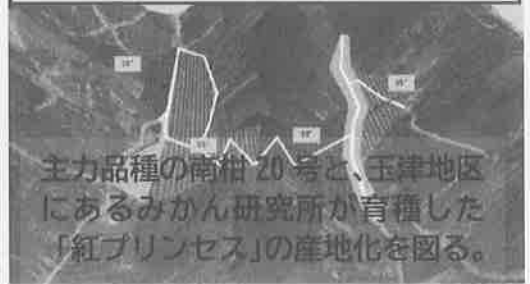
## 平成30年度7月豪雨の被害

宇和島市  
被災農家 696戸  
農地被災面積 217ha  
モノレール破損 667箇所

農家の努力と関係機関の協力により、徐々に復旧・復興が進んでいる。

力強い産地を目指す

## 基盤整備事業の開始



若手農業者の希望

玉津生まれの紅プリンセス  
復興のシンボル！

「次世代につながるかんきつ産地のモデル」！  
「紅プリンセス（愛媛果試第48号）」の産地化

地域農業育成室

《現地への普及》

強力牽引



みかん研究所

《試験研究》

## 1 「紅プリンセス」産地化推進協議会の設立

・ 構成員：宇和島市 JAえひめ南 みかん研究所 産業振興課 農産園芸課

### ① 紅プリンセス産地化推進協議会の開催（年3回）

紅プリンセスの産地化に向けた方策や事業の取り組み等の検討

### ② 紅プリンセス魅力度向上セミナーの開催（年1回）

首都圏の高級百貨店や果物専門店のバイヤーを本県に迎え、紅プリンセスに対する期待等について意見交換を行い、若手生産者の意欲向上を図る

## 2 「紅プリンセス」導入啓発活動

### ① 栽培研究会の開催（年5回）

吉田町の若手を中心とした生産者を対象とした栽培研究会の開催

### ② 中晩柑栽培地域の現地調査の実施（年1回）

若手農家が中心となった、中晩柑産地化の現地調査（興居島（松山市）盛地区（今治市）等）

### ③ みかん研究所と連携した調査活動（随時）

みかん研究所と生育調査を共同で実施し、栽培マニュアルの作成につなげる

連 携

宇和島市 ・ JAえひめ南

## 3 その他

# 高収益作物次期作支援交付金

【令和2年度補正予算額 24,190百万円】

## ＜対策のポイント＞

外食需要の減少により市場価格が低落する等の影響を受けた野菜・花き・果樹・茶などの高収益作物について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援し、国内外の新たな需要促進につなげます。

## ＜政策目標＞

野菜・花き等高収益作物について、新型コロナウイルス収束後に向けた生産体制の強化

## ＜事業の内容＞

### 1. 次期作に前向きに取り組む生産者への支援

- 次期作に前向きに取り組む、野菜・花き・果樹・茶など高収益作物の生産者に対し、種苗等の資材購入や機械レンタル等を支援します。

25

【定額支援：10a当たり5万円】

### 2. 需要促進に取り組む生産者への支援

- 需要促進に取り組む高収益作物の生産者に対し、新たな品種の導入や新たな販売契約に向けた対応などの取組を支援します。

【定額支援：10a当たり2万円×取組数】

- ※ 1、2とも中山間地域等では支援単価を1割加算
- ※ 政府の用意するセーフティネットへの加入を検討する生産者を支援

## ＜事業の流れ＞



## ＜事業イメージ＞

### 需要対応生産支援

#### 【取組例】

- ・生産・流通コストの削減に要する経費
- ・種苗、肥料、農薬等の資材費
- ・土壌改良資材の投入に要する経費
- ・作業環境の改善に資する経費 等



機械化体系の導入



被覆資材の導入

### 需要促進取組支援

#### 【取組例】

- ・新たな契約締結に向けた取組
- ・新品種・新技術導入に向けた取組
- ・海外の残留農薬基準への対応や有機農業、GAP等の取組 等



新品種導入試験



研修会の開催

新たな需要に対応した生産強化

【お問い合わせ先】 生産局園芸作物課 (03-6738-7423)  
生産局地域対策官 (03-6744-2117)



## 令和2年度柑橘農業復興推進事業の概要

### 1 目的：

平成30年7月の豪雨により、柑橘園地が崩落するなどした農家が、営農意欲を失わずに将来に夢を持って経営の再建に立ち上がることができるよう、「早期復旧を後押し」し、「地域の農業を支えるための仕組みづくり」を支援することにより、柑橘農業の復興を推進する。

### 2 事業主体（実施主体）：市町（JA等）

### 3 事業内容：

#### (1) 柑橘農業復興事業（補助率：3分の1以内、予算額：8,468千円）

##### ① 労働力確保のための仕組み構築への支援

- ・農作業受託の仕組み構築に必要な備品購入等
- ・外部労働力確保のための労働環境整備に必要な施設整備等

##### ② 早期成園化のための大苗生産等への支援

- ・大苗生産に必要な施設整備等
- ・生産技術習得に向けた研修等
- ・復旧園地の早期成園化等のための土づくり

#### (2) 県推進事業（予算額：424千円）

- ・事業の進行管理指導
- ・大苗生産等指導

### 4 予算額：8,892千円

### 5 事業実施期間：令和元年度～令和5年度

## 事業内容・予算額の昨年度との対比

	元年度	
	事業内容	予算額 (千円)
①労働力確保のための仕組み構築	・農作業受託の仕組み構築に必要な備品購入等	2,067
②新品種・先進技術導入モデル実証	・新品種導入や、早期成園化・省力化・高品質化を目的とした先進技術の実証や試験導入に必要な施設整備等	5,267
③早期成園化のための大苗生産等への支援	・早期成園化のための大苗生産に必要な施設整備等	1,334
	・2年生苗の購入支援	770
	・大苗生産技術の習得に向けた研修等	167
④モノレール早期完全復旧へ向けた支援	・自主施工モノレールの安全点検	1,800
⑤無人航空機等防除委託事業	・スプリンクラー未復旧園での無人航空機等防除委託費支援	5,000
	計	16,405



2年度	
事業内容	予算額 (千円)
・農作業受託の仕組み構築に必要な備品購入等	2,067
・外部労働力確保のための労働環境整備に必要な施設整備等	<u>3,200</u>
(廃止)	
・早期成園化のための大苗生産に必要な施設整備等	1,334
(廃止)	
・大苗生産技術の習得に向けた研修等	200
・復旧園地の早期成園化のための土づくり	<u>1,667</u>
(廃止)	
(廃止)	
計	8,468

## 次世代につなぐ果樹産地づくり推進事業

### 1 事業の目的

TPPの発効により、今後、段階的にオレンジ等の生果、果汁の関税が撤廃される中、これまでの周年供給体制強化等への取組みを踏まえ、新たな果樹農業振興計画(目標R7年)の基本理念「次世代につなぐ人・樹・園地づくりと高品質生産による愛媛ブランドの強化」のもと、多様な担い手の確保、園地力強化、商品力向上に加え、豪雨災害からの復旧園地の生産力強化を図り、次世代につなぐ果樹産地の育成を図る。

2 実施期間 平成28年度～

3 令和2年度予算額 118,300千円

### 4 事業の内容

(1)担い手確保支援 (8,000千円)

事業主体 (実施主体)	事業内容	補助率
市町 (JA等)	担い手確保 ○新規就農者のためのJA等による基盤整備 新規就農者の経営開始時に引き継ぐ早期経営安定に必要な施設等の整備	県1/3以内

(2)園地力強化・商品力向上支援 (87,200千円)

事業主体 (実施主体)	事業内容	補助率
市町 (JA、集出荷及び加工事業者等) ※集出荷及び加工事業者は商品力向上のみ	園地力強化 ○高品質生産基盤の整備 「愛媛Queenスプラッシュ」等ブランド商品の生産力強化につながる高品質生産に必要な施設等の整備 ○加工原料用果実産地化推進支援 加工原料用果実生産コストの削減等を実施するために必要な機械・設備の整備 ○生産基盤等の整備 省力化、低コスト化、気象災害軽減等に必要モノレール、防風防鳥ネットの整備等 ○キウイフルーツ生産力強化 改植による伐採で必要な果樹棚の補修・補強・再設置 商品力向上 ○集出荷貯蔵、加工機械の整備 消費者ニーズへの対応や周年供給体制の強化のための集出荷貯蔵機械、新商品製造販売機器等の整備	県1/3以内

(3)復旧園地生産力強化 (21,600千円)

事業主体 (実施主体)	事業内容	補助率
市町 (JA等)	復旧園地生産力強化 ○復旧園地の生産力強化施設の整備 復旧が完了した園地において高品質生産に取り組むための施設整備支援	県1/3以内

### 5 事業採択に当たっての主な採択基準等

- ・ 果樹産地構造改革計画又は普及ビジョンに即した事業内容であること
- ・ 事業対象作付規模：3ha以上、受益戸数：3戸以上、受益面積：概ね15a(改植は2a)以上  
なお、新規就農者を対象とする整備事業及び復旧園地の生産力強化施設整備は、受益戸数及び受益面積の要件の適用除外
- ・ また、復旧園地の生産力強化施設整備は被災前と比べて「販売額10%以上向上」、「生産コスト10%以上削減」、「労働時間10%以上削減」のいずれかが達成見込みの取組みであること。
- ・ 集出荷、加工機械の整備にあつては、費用対効果が見込まれるものであり、生産者(受益出荷農家)の所得向上につながる取組み(系統外事業者にも対応)であること

### 事業の内容比較

(旧)次世代につながる果樹産地づくり推進事業 【令和元年度】			(新)次世代につながる果樹産地づくり推進事業 【令和2年度】			事業推進の 考え方
事業主体 (事業実施主体)	事業内容	事業費 (千円)	事業主体 (事業実施主体)	事業内容	事業費 (千円)	
市町 (JA等)	(1)担い手確保 ○新規就農者の就農時の未収益期間をなくすことを目的に、JA等が園地を借受け、同一品種の改植や園地整備を行い、育成管理した後、担い手に引き継ぐ等の取組を推進。  ・同一品種への改植 ・片屋根ハウスの整備等    など	24,000	市町 (JA等)	(1)担い手確保 ○新規就農者の就農時の未収益期間をなくすことを目的に、JA等が園地を借受け、同一品種の改植や園地整備を行い、育成管理した後、担い手に引き継ぐ等の取組を推進。  ・同一品種への改植 ・片屋根ハウスの整備等    など	24,000	○新規就農者の早期経営安定に必要な取組を支援
市町 (JA等)	(2)園地力強化 ○「愛媛Queenスプラッシュ」等の高品質生産に必要な施設整備や省力化や低コスト化等に必要な施設等の導入支援	150,000	市町 (JA等)	(2)園地力強化 ○「愛媛Queenスプラッシュ」等の高品質生産に必要な施設整備や省力化や低コスト化等に必要な施設等の導入支援	150,000	○かんきつ、キウイフルーツ等果樹園地の生産基盤強化の取組を支援  ○加工原料用果実の栽培コストの削減・省力化によるビジネスモデル構築を支援
	○加工原料用果実生産コストの削減等を実現するために必要な、機械・設備の整備を行い産地化の推進を支援  ・スピードスプレイヤー ・乗用除草機 ・平棚栽培用資材    など	21,010		○加工原料用果実生産コストの削減等を実現するために必要な、機械・設備の整備を行い産地化の推進を支援  ・スピードスプレイヤー ・乗用除草機 ・平棚栽培用資材    など	21,010	
	○省力化、気象災害軽減等に必要なモノレール、防風鳥ネット等の生産基盤等の整備	37,500		○省力化、気象災害軽減等に必要なモノレール、防風鳥ネット等の生産基盤等の整備	37,500	
	○キウイフルーツの改植による伐採で果樹棚の補修・補強・再設置が必要な場合の資材費等の支援	8,088		○キウイフルーツの改植による伐採で果樹棚の補修・補強・再設置が必要な場合の資材費等の支援	8,088	
市町 (生産組織、集出荷加工事業者、JA)	(3)商品力向上 ○消費者ニーズへの対応や周年供給体制の強化のための集出荷貯蔵機械、新商品製造販売機器等の整備  ・小型選果機(品質評価機能つき) ・搾汁機器 ・カットフルーツ製造機 ・長期貯蔵冷蔵貯蔵庫    など	45,000	市町 (生産組織、集出荷加工事業者、JA)	(3)商品力向上 ○消費者ニーズへの対応や周年供給体制の強化のための集出荷貯蔵機械、新商品製造販売機器等の整備  ・小型選果機(品質評価機能つき) ・搾汁機器 ・カットフルーツ製造機 ・長期貯蔵冷蔵貯蔵庫    など	45,000	○生産者の所得向上につながる整備を支援
計		285,598	市町 (JA等)	<b>【新規】(4)復旧園地生産力強化</b> ○復旧が完了した園地において高品質生産に取り組むための施設整備支援  ・片屋根ハウス ・マルドリシステム ・防風・防鳥ネット    など	64,800	○かんきつ、キウイフルーツ等の復旧が完了した園地の施設整備を支援
県指導対策旅費		1,497		計		350,398
予算額(千円)		96,696		県指導対策費		1,500
			予算額(千円)		118,300	